

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月9日

上場会社名 サイボー株式会社

上場取引所 東

コード番号 3123 URL <http://www.saibo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 飯塚 剛司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 藤井 孝男

TEL 048-267-5151

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	6,465	△20.9	1,247	15.7	1,341	36.1	697	210.6
21年3月期第3四半期	8,174	—	1,078	—	985	—	224	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	51.15	51.13
21年3月期第3四半期	16.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	27,493	13,342	41.7	840.84
21年3月期	27,326	12,724	40.2	805.76

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 11,469百万円 21年3月期 10,991百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
22年3月期	—	7.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,651	△18.0	1,476	5.9	1,531	12.6	742	95.8	54.40

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	14,000,000株	21年3月期	14,000,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	359,337株	21年3月期	359,287株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	13,640,702株	21年3月期第3四半期	13,640,739株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的金融危機の影響による輸出や生産の落ち込みは主力輸出関連企業を中心に回復し始めたものの、設備投資や生産拡大には至らず、特に中小の企業業績は総じて低調に推移いたしました。外需に比べ政策効果が出ているエコカーやグリーン家電など一部の分野を除くと内需は不調で、雇用の悪化や個人消費が冷え込むなど、全体的に大変厳しい状況が続きしました。そのような中で、当社グループにおける事業環境は引続き厳しく、特に繊維事業にとっては想定以上の厳しい状況になりました。

(1) 繊維事業

繊維事業においては、百貨店やスーパーの売上高が前年同期比マイナスを続けていることが示すように家計部門の節約志向は緩むことなく、繊維市況の冷え込みにより総じて売上が伸びず厳しい状況となりました。

原糸販売は、北陸地方の自動車を中心とした産業用資材関連企業の不況の影響を受けて引続き大幅な減収となりました。また高級品である麻織物も消費者の高額ブランド品離れの影響を受け減収となりました。アパレル関係はスポーツ関連商品や法人ユニフォームが堅調に推移したもののSP商品が前年どおりに受注できず減収となりました。カジュアル縫製品関係は、当期から本格始動した「自社企画商品（桂由美ブランド）を小売業へ直接販売していく路線」の効果が一部現れたものの減収となりました。刺繍レースを扱う栃木サイボー(株)は、服地品・付属品ともに低迷して減収となりました。寝装品はギフト市場の繊維品離れの影響から、回復見込みの薄い営業部門を廃止し大幅な減収となりました。

この結果、繊維事業の売上高は23億92百万円(前年同期比40.6%減)となり、営業損失は13百万円増加して1億7百万円となりました。

(2) 不動産活用事業

不動産活用事業においては、大型商業施設の「イオンモール川口キャラ」は近隣大型商業施設に比べ「回遊型ショッピング」ができるというお客様の利便性が高く評価され、安定した収益基盤を維持できました。また埼玉興業(株)の「川口自動車学校」は18歳人口の減少などにより減収、「川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ」練習場は、若年層の増加と身近なレジャー志向が進んで引続き増収となりました。

この結果、不動産活用事業の売上高は34億71百万円(前年同期比1.5%減)となり、営業利益は13億52百万円(前年同期比14.4%増)となりました。

(3) その他の事業

その他の事業においては、ギフト事業部は、消費者の生活防衛意識からの節約志向や催事の簡素化がさらに強まりましたが、販売提案力を強化して、価格低下の防止や歳時ギフト・特需品の受注に努め増収となりました。自動車板金塗装修理事業は、生産性の向上や自社見積り件数の増加など、ネットヨタ東埼玉(株)との連携強化を進めて増収となりました。インテリア施工事業の神根サイボー(株)は、建設業界が総じて低迷する中、一般工事の受注に努めましたが減収となりました。緑化事業のディアグリーンサイボー(株)は、自動給水プランター「e-プランター」の販売やレンタル事業の拡販を推進したものの減収となりました。

この結果、その他の事業の売上高は6億2百万円(前年同期比2.8%減)となり、営業利益は38百万円増加して30百万円となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は、64億65百万円(前年同期比20.9%減)、営業利益は12億47百万円(前年同期比15.7%増)、経常利益は13億41百万円(前年同期比36.1%増)、四半期純利益は、前年同期に比べ大きな特別損失の計上もなく4億73百万円増加して6億97百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、受取手形及び売掛金の減少及び有形固定資産の減価償却が進んだことによる減少はあったものの、現金及び預金や投資有価証券の増加により、前連結会計年度末に比べ1億66百万円増加して274億93百万円となりました。

負債は、長期借入金や長期預り保証金のうち建設協力金の返済により、前連結会計年度末に比べ4億50百万円減少し141億51百万円となりました。また、純資産は四半期純利益の計上及び少数株主持分の増加により、前連結会計年度末に比べ6億17百万円増加して133億42百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の通期の業績予想につきましては、平成21年11月5日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の業績予想から変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,471,578	2,921,736
受取手形及び売掛金	929,949	1,191,373
有価証券	80,778	206,610
商品及び製品	415,446	532,584
仕掛品	34,070	22,042
原材料及び貯蔵品	31,993	43,967
その他	161,614	351,678
貸倒引当金	△9,162	△19,067
流動資産合計	5,116,267	5,250,926
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,080,626	12,515,069
土地	5,778,587	5,572,728
その他(純額)	147,560	151,267
有形固定資産合計	18,006,774	18,239,065
無形固定資産	260,267	296,303
投資その他の資産		
投資有価証券	3,641,887	2,973,978
その他	475,099	643,183
貸倒引当金	△6,821	△76,817
投資その他の資産合計	4,110,165	3,540,345
固定資産合計	22,377,207	22,075,714
資産合計	27,493,474	27,326,640

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	485,983	483,158
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	210,000	210,000
未払法人税等	243,933	163,729
賞与引当金	36,705	111,721
役員賞与引当金	28,552	39,210
その他	1,024,965	775,848
流動負債合計	2,080,141	1,833,667
固定負債		
長期借入金	1,487,500	1,645,000
退職給付引当金	308,037	315,081
役員退職慰労引当金	160,735	163,259
長期預り保証金	9,365,548	9,836,416
その他	749,282	808,296
固定負債合計	12,071,104	12,768,054
負債合計	14,151,245	14,601,722
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	868,685	868,685
利益剰余金	9,424,017	8,912,417
自己株式	△252,018	△251,993
株主資本合計	11,442,683	10,931,109
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	70,446	94,497
繰延ヘッジ損益	△43,560	△34,409
評価・換算差額等合計	26,885	60,087
新株予約権	19,973	17,273
少数株主持分	1,852,686	1,716,449
純資産合計	13,342,229	12,724,918
負債純資産合計	27,493,474	27,326,640

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	8,174,041	6,465,813
売上原価	5,896,399	4,110,095
売上総利益	2,277,641	2,355,718
販売費及び一般管理費	1,199,333	1,108,194
営業利益	1,078,308	1,247,523
営業外収益		
受取利息	28,454	18,080
受取配当金	41,431	27,609
持分法による投資利益	—	49,024
有価証券運用益	—	64,230
その他	25,475	49,866
営業外収益合計	95,362	208,810
営業外費用		
支払利息	96,178	96,704
持分法による投資損失	50,563	—
その他	41,612	18,386
営業外費用合計	188,354	115,090
経常利益	985,316	1,341,243
特別利益		
固定資産売却益	1,616	32,992
投資有価証券売却益	45,251	62,883
貸倒引当金戻入額	—	31,176
特別利益合計	46,868	127,052
特別損失		
固定資産除却損	14,890	37,886
固定資産売却損	—	653
投資有価証券評価損	474,463	7,090
投資有価証券売却損	—	2,627
貸倒引当金繰入額	241,641	—
特別損失合計	730,995	48,259
税金等調整前四半期純利益	301,188	1,420,036
法人税、住民税及び事業税	305,315	420,839
法人税等調整額	△206,746	163,073
法人税等合計	98,569	583,912
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△21,968	138,457
四半期純利益	224,588	697,666

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	301,188	1,420,036
減価償却費	675,260	674,212
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	255,548	△79,899
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△55,005	△75,015
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,052	△10,657
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△26,434	△7,044
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3,492	△2,523
受取利息及び受取配当金	△69,886	△45,689
支払利息	96,178	96,704
持分法による投資損益 (△は益)	50,563	△49,024
有価証券運用損益 (△は益)	—	△64,230
投資有価証券売却損益 (△は益)	△45,251	△60,255
投資有価証券評価損益 (△は益)	474,463	7,090
売上債権の増減額 (△は増加)	34,090	310,119
たな卸資産の増減額 (△は増加)	35,776	117,084
仕入債務の増減額 (△は減少)	70,661	2,825
その他	16,977	△155,659
小計	1,801,587	2,078,074
利息及び配当金の受取額	72,556	49,548
利息の支払額	△96,178	△96,187
法人税等の支払額	△387,344	△343,499
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,390,621	1,687,935
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△40,000	—
有価証券の売却による収入	350,000	220,803
有形固定資産の取得による支出	△142,404	△395,092
有形固定資産の売却による収入	3,965	36,011
投資有価証券の取得による支出	△846,206	△831,755
投資有価証券の売却による収入	141,585	204,604
定期預金の増減額 (△は増加)	22,579	27,204
貸付金の回収による収入	12,600	49,000
その他	△14,552	△26,288
投資活動によるキャッシュ・フロー	△512,434	△715,511

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	250,000	850,000
短期借入金の返済による支出	△550,000	△850,000
長期借入金の返済による支出	△157,500	△157,500
配当金の支払額	△212,648	△186,066
少数株主への配当金の支払額	△6,184	△6,184
その他	△45	△45,625
財務活動によるキャッシュ・フロー	△676,378	△395,376
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	201,809	577,047
現金及び現金同等物の期首残高	1,430,002	2,452,392
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,631,811	3,029,439

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	繊維事業 (千円)	不動産活用 事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,030,221	3,523,920	619,899	8,174,041	—	8,174,041
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	12,586	167,386	179,972	(179,972)	—
計	4,030,221	3,536,506	787,285	8,354,014	(179,972)	8,174,041
営業利益又は営業損失(△)	△94,286	1,182,136	△7,763	1,080,085	(1,777)	1,078,308

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	繊維事業 (千円)	不動産活用 事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,392,169	3,471,287	602,356	6,465,813	—	6,465,813
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	12,666	246,738	259,405	(259,405)	—
計	2,392,169	3,483,954	849,095	6,725,219	(259,405)	6,465,813
営業利益又は営業損失(△)	△107,350	1,352,693	30,462	1,275,805	(28,282)	1,247,523

(注) 1 事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各区分に属する主要な製品又は事業内容

事業区分	主要製品又は事業内容
繊維事業	レーヨン糸、合繊糸、麻生地、ニット製品、刺繍レース、ユニフォーム、寝装寝具品、衣料品、販促商品の販売
不動産活用事業	商業施設賃貸業、ゴルフ練習場・自動車教習所の運営、ビルメンテナンス
その他の事業	自動車の板金塗装修理、ギフト商品の販売、インテリア施工、自動給水植木鉢の販売及びレンタル業

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

当社及び連結子会社は本邦に所在するため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。